



Vol.48 2012.7

47名の新支援生を迎えて

さぼうと 21 では皆様のお力添えのおかげで、難民を助ける会の時代からのべ、3,500人以上の支援生を社会に送りだして参りました。さまざまな分野で活躍する元支援生たちは、社会人になってからも「さぼうと 21」のボランティアとして、または会員となって後輩たちを支えてくれています。彼らは異なる国籍や文化、言語の人々がお互いの違いを認めながらともに暮らす社会、多文化共生社会のキーパーソンとなっ

てきています。

今年もまた、高校生から大学院生まで47名の学生がさぼうと 21 の支援生として選ばれました。祖国との架け橋となりたい、世界を舞台に活躍したい、そんな夢いっぱいの若者たちです。支援生のことを広く皆様に知っていただくとともに、一人ひとりが無事に巣立てるよう、ぜひ皆様のお力を借りしたいと思っております。変わらぬご支援をお願い申し上げます。

さぼうと 21 事務局長 高橋 敬子

「大学最後の年に、 さぼうと 21 と出会って…。」

私は日本生まれ日本育ちのナイジェリア人です。日本の学校に通い、現在は横浜市立大学の国際総合科学部に通っています。大学では自分が何者なのか知り、将来の自分の進むべき道を構築したいと思い、多文化社会論のゼミに所属しています。特にその中でも、日本に住む外国人や欧米諸国の多文化主義との比較研究をしています。また、多文化社会論の研究を通して自身が得た知識を活かしたいと思い、神奈川県内の学校で講演会活動をしたり、自身の通う大学で外国につながりのある高校生を対象にオープンキャンパスを開催するなど、様々な事に挑戦しました。就職活動がようやく終わり、来年の春から日本のIT大手企業でソリューション営業担当として働く事になりました。会社はユニバーサルデザインに非常に力を入れていて、日本に住む外国人向けのソフトの開発などもおこなっており、自身が学生時代に学んだ事が活かせると思っています。将来は最先端技術であるITを通して、世の中の全ての人々の生活をよりよくしたいと考えております。今年度が学生生活最後の年になります。

祖国への帰国や他の国々への旅行、またボランティア活動や講演会などより様々な事に挑戦し、充実した学生生活を送りたいです。

オルム リサ オゲチさん

●横浜市立大学 国際総合科学部 4年
ナイジェリア 出身



本年度から坪井支援生。大学や居住地域を中心に、外国出身者に関する様々なボランティア活動にも取り組んでいます。

ご協力よろしくお願いします。 さぼうと 21 への会費・ご寄付とも税法上の優遇措置が受けられます。

(詳細は、本号最終ページにあります。)

就職決まりました!!

レー ニヤット ナムさん

●立教大学 経営学部 4年 ベトナム出身



2009年度よりさぼうと21支援生
学習支援室ではボランティア
講師も務めています

インドシナ難民として先に日本へ渡った父の呼び寄せで、6歳の時にベトナムから母・姉と共に渡日し、日本での生活は今年で16年目になります。小・中・高と日本の学校で勉強し、大学選びでは世界に出て活躍できる人になりたいとの理由から、英語で経営学を学ぶことが出来る立教大学経営学部に入学しました。そして、4年生になった今年、就職活動を経て来年からKDDI株式会社で働くことになりました。就職活動においても、自分のバックグラウンドを活かしてグローバルに活躍するという軸はぶらざずに企業を回りました。そして、新興国での新規開拓を担う同社のグローバルコースに採用され、在日外国人であるが故に、一つの物に拘らず多元的に物事を見る事ができるという自分の強みを活かして、より海外に出て行けると考えて進路を決定しました。今後の目標は、早いうちから新興国での通信インフラ構築に自分が携わることです。日本では当たり前のインターネットや携帯電話、しかし世界に目を向ければそれらが未熟な国も多いです。そんな国々で人々が自由に情報にアクセスできる環境が整備されれば、今まで知らなかった情報や文化に触れる事ができます。その結果、日々の生活がより豊かになったり、人々の可能性を広げることに貢献できると信じています。

2012年度

生活支援生決定!

インドシナ難民、条約難民、中国帰国者、日系定住者等の自立支援

今年度のさぼうと21支援生が以下の通り決定いたしました。皆様から頂いた心温まる応援のおかげで、難民をはじめとする多くの外国出身学生が、それぞれの将来に向かって一步一歩着実に歩んであります。長期にわたるご支援に、厚く御礼申し上げます。

◆応募者総数：96名

◆受給者：47名

◆国籍別人数

国籍	人数
ベトナム	27
中国	6
カンボジア	2
ラオス	2
日本	6
ミャンマー	2
ブルジル	1
ナイジエリア	1

◆生活支援生：年6万円～36万円

◆坪井支援生：年48万円～72万円

◆学校別人数

学校種別	人数
高校生	19
専門学校生	3
大学生	20
大学院生	5

※日本国籍者のルーツは、
ベトナム、アフガニスタン、韓国です。

◆坪井基金による支援生紹介

イシカワ レイナ 石川 麗奈	神戸大学 大学院 経営学研究科 修士課程 2年	ティン 丁 文	宮崎大学 大学院 工学研究科 修士課程 2年
ファム ニーブン	東京工業大学 大学院 イノベーション マネジメント研究科 修士課程 1年	ナガミ ヤスユキ 永見 康勇	静岡大学 大学院 工学研究科 修士課程 2年
オルム リサ オゲチ	横浜市立大学 国際総合科学部 4年	レーティニヤット クイ	東京大学 大学院 理学系研究科 修士課程 2年
モウ チェンウン 孟 倩雯	埼玉大学 教養学部 4年	レー ニヤット ナム	立教大学 経営学部 4年
グエン ユイ	兵庫県立大学 工学部 4年	イマミ 今見 ムスターファ	桃山学院大学 国際教養学部 3年

(順不同)

生活支援プログラム

日本国内の高校、大学、専門学校に通うインドシナ難民・条約難民とその子弟に加えて、中国帰国者子弟、日系定住者とその子弟等が支援の対象です。就学を支えるための生活支援金を月々支給する他、面談や研修会などを通じて、学生の将来設計や精神面でのサポートにも努めています。今後、日本生まれの世代の成長や家族の呼び寄せ等によって、難民等の方々の定住化が進行していく中で、本プログラムのような生活支援事業を通じて、子どもたちの就学や自立を後押しすることがより一層求められていると考えております。

卒業生からの 現支援生・ お葉書紹介

Q.4月からの目標はですか？

TOEIC 800点以上を目指し
勉強したいと思いま

(大学3年生・男性 アフガニスタン出身)

坪井一郎・仁子学生支援プログラム (通称:坪井基金)

将来日本や世界各地での活躍が期待される優秀な学生で、経済的理由により学業の継続が困難な方を支援するプログラムです。留学生向けの奨学金に応募できず、支援が届きにくい立場にいる、難民や日系定住者及び中国帰国者の子弟等、定住外国人の方々を対象としています。(大学3年次以上、または大学院生。)

坪井基金は、東洋熱工業株式会社の創業者である故坪井一郎様・仁子様のご遺志により、主に理系の将来有望な学生を支援するために2005年に設立されました。基金は、ご夫妻から寄贈された東洋熱工業株式会社の株式配当金を元に運営されております。基金の設立以来、既に多くの卒業生が様々な分野で活躍しています。

Q.4月からの目標はですか？

いちばん早く仕事を見て、新しい毎日になれることです。
体温管理に気をつけて、毎日元気にすごせたいです!!

(高校卒業・女性 カンボジア出身)

Q.4月からの目標はですか？

目標をしきり決め、それに向かってがんばりたいです。
それと友達をいっぱい作りたいです。

(高校2年生・女性 ベトナム出身)

平成24年度 日本郵便 年賀寄附金配分事業

夏期研修会

外国にルーツをもつ学生との学び @ 宮城県

夏期研修会は、さぼうと21が自立支援を行っている、外国にルーツをもつ高校生から大学院生までの「支援生」を中心とする研修会です。毎年さまざまな団体・個人の方々のご協力により、夏休み中に開催しております。

昨年は、日本人の大学生や社会人の方にもご参加いただき、東日本大震災の支援活動に関するワークショップや都内見学会(防災館等)を通して、多国籍の支援生と直接向き合い、私たちの社会の課題について、共に考えていただきました。

今年は、昨年災害時の救援活動や防災について学んだ支援生たちが、宮城県の被災地に赴き、当会の姉妹団体である「認定NPO法人難民を助ける会」が支援を続けてきた保育施設や高齢者施設などを訪問する予定です。寄贈する図書の整理などのボランティア作業を通して、地域の方々との交流を図ります。

夏期研修会の詳しい内容につきましては、当会事務局までお問い合わせ下さい。(TEL:03-5449-1331)

日程: 2012年 8月26日(日) ~ 8月29日(水)

開催地: 宮城県青年会館

活動: •宮城県内の被災地(石巻市、南三陸町など)の訪問
•被災地に生活する外国出身者と、ご家族についてのお話会
•被災者の皆さんとミニバス旅行、鳴子温泉で交流会 ほか

本募集!

被災地の集会所などにミニ図書コーナーや本棚を寄贈するために、以下の分野の本を募集しております。お送りいただいた書籍は、夏期研修会中に参加者が整理して、各施設にお届けします。
送付先などの詳細は、夏期研修会のちらしをご覧ください。

募集本 小説、絵本、手芸/園芸/料理の実用書、文庫本、マンガ(全巻揃っているもの)など

★雑誌、辞書類、専門書は不可。
状態の良いものに限ります。
他の分野の書籍はご遠慮ください。



平成23年度 (2011年度) 事業報告



生活支援プログラム

~43名の外国にルーツをもつ学生の学びを応援しました~

難民や中国帰国者、日系定住者の子弟で、経済的に就学が困難な学生に対し、生活支援金を支給するプログラムです。2011年度は、皆様からのご支援のもと、下記の通り事業を継続いたしました。

生活支援プログラム

- 対象：高校や大学、専門学校に在籍する者
- 国籍：ベトナム、ラオス、カンボジア、ミャンマー(ビルマ)、中国、日本(ペトナム、アフガニスタン)※順不同
- 2011年度 総数：33名
- 支給総額：4,425,000円／年

夏期研修会

～被災地支援の現場から、
私たちの理解 ⇔ 実践を考える夏～

上記の支援生、学生・社会人ボランティア、総勢57名が、2泊3日の研修を通して交流を行いました。主に被災地の現状や支援活動の様子について学び、また防災館で災害体験することで、日頃の防災意識の向上に努めました。

坪井一郎・仁子学生支援プログラム

- (通称 坪井基金)
- 対象：大学3年生から大学院までに在籍する者
 - 国籍：ベトナム、中国、日本(ブラジル、韓国)※順不同
 - 2011年度 総数：10名
 - 支給総額：5,020,000円／年

支援生とのつどい

～日本と出身国、そして世界を
つなぐ『人財』になりたい～

JICA地球ひろばにて、坪井基金支援生による研究報告会を行いました。支援生OB・OGや、会員・寄付者、一般の学生や社会人60名にご参加いただき、外国出身者として感じることや、これまでの体験について共有する時間も設けました。

相談事業

2011年度も電話・メール・面談にて相談を受けました。

高額医療費の支払いから公共料金の明細表の見方、また定住生活が数十年になる方からは永住や帰化申請についてなど、幅広い相談が39件寄せられました。(対応回数:68回)

学習支援室

皆さまからのご支援のもと、2011年度も毎週土曜日の朝10時から午後6時までの間で、教室を運営いたしました。登録受講生100名、その学びを支えるボランティアも90名に上るなど、活動もさらに広がりを見せております。

◆年間実施行事

4月	放射能についての多言語通訳付き緊急セミナー	10月～3月	日本で働くための中上級日本語講座 (※平成23年度 東京都在住外国人支援事業助成)
6月	特別講演会(講師:西原 鈴子 氏)	11月～1月	定住外国人のための60時間参加型日本語講座 (※平成23年度 文化庁委託事業)
7月	七夕	11月	学習発表会
7月～12月	ボランティアを対象とした実践的研修 (※平成23年度 文化庁委託事業)	1月	書初め
8月	読売新聞社の出前授業「見る・撮る・伝える」	2月	お楽しみ交流会
	都内バスハイク(生活支援プログラムの夏期研修会と合同実施)	3月	品川区主催防災フェア見学／防災袋づくり
10月	IBMボランティア企画ワークショップ「エンジニアって何?」		旅立ちを祝う会

✿ 東日本大震災罹災者支援事業

～被災地の学校等への教育支援活動～

被災地支援を呼びかけたコンサートでの純益並びに、ご縁のあった多くの企業、個人の皆さまからのご芳志をもとに、地震や津波で被害を受けた学校等に支援を行いました。また、定住外国出身者向けに、地震、放射能や防災に関する情報提供を行いました。

✿ 寄贈先

岩手県:

陸前高田市立高田小学校
野田村立野田中学校／釜石市立釜石東中学校
県立高田高校

宮城県:

東松島市立大曲小学校／石巻市立住吉小学校
石巻市立鹿妻小学校／石巻市立渡波小学校・中学校／石巻市立稻井小学校・中学校／石巻市立湊中学校
県立石巻好文館高校／石巻地区吹奏楽連盟
石巻市東浜災害対策本部／石巻市青年団協議会

✿ 主な支援内容

寄贈品:

楽器124種類227点、チョコレート1万個(六花亭製菓株式会社協力)、手作りきんちゃく200枚、理科教材・器具97点、アップライトピアノ3台(東京オペラティティ譲渡)、その他、救援活動用の乗用車、リヤカー、教室用カーテン、野球部用グラウンドコート
情報提供:難民を助ける会(石巻)、稻井オヤジの会ほか

活動応援:

東京藝術大学や仙台フィルハーモニー管弦楽団、エリック・オービエ氏(トランペット奏者)のご協力をいただきチャリティ・コンサート及び、募金の為と被災者の方々を招待するコンサートの開催、吹奏楽コンクールに向けての演奏指導、新年の伝統行事「獅子舞」の開催、放射能についての多言語通訳付き緊急セミナーの実施、災害対策動画の公開など

◆ご協力いただいた企業・団体

セガサミーホールディングス 株式会社	仙台フィルハーモニー 管弦楽団	ロミーズ・パッチワーク・スクール
財団法人 野村生涯教育センター	サンキュー 株式会社	イメージニクス 株式会社
株式会社 ボネール	ヤマハ 株式会社	高野興業 株式会社
有限会社 タニパテントシステムズ	株式会社 ミリオンインターナショナル	麻沼産業 株式会社

また、多くの団体・個人の皆様からご支援をいただいております。

ご厚情に感謝致します。

(敬称略・順不同)

✿ 企業の皆さまからのご協力

✿ 日本アイ・ビー・エム株式会社 様 (コミュニティー・グランツ・プログラム)

テレビ一体型パソコンの購入支援をしていただきました。
文化庁委託事業『60時間参加型日本語講座』、『日本で働くための中上級日本語講座』などで活用しています。



受講したものを復習できます。
もっと覚えられます。

クラスの人は、お互いに親しくない、楽しくないました。

✿ Fit for Charity Run 2011 (事務局・ご賛同企業の皆さま、そしてランナーの皆さん)

多くの定住外国出身者の方が、日本での自立に向けて有効な情報を得ることのできる、ホームページに一新させていただきます。
チャリティラン当日は、さぽうと21も、支援生、学習支援室の通学生、ボランティア講師の方、みんなで国立競技場を走りました。



✿ あいおいニッセイ同和損保 様 (MS&AD ゆにそんスマイルクラブ)

持ち運びに便利なノートパソコンを購入させていただきました。

写真

支援生とのつどい(JICA地球ひろば)

購入させていただいたパソコンを使って研究発表をする坪井基金支援生



✿ 広報活動

『Support21ニュースレター』Vol. 45／7月、Vol. 46／11月、Vol. 47／3月を発行しました。

資金収支計算書

◆平成23年(2011年)4月1日～平成24年(2012年)3月31日

科 目				予 算 額	決 算 額
【 事 業 活 動 収 支 の 部 】					
1 事 業 費 会 正 助 民 公 寄 受 雜	業 活 員 金 間 的 附 取 取	動 會 金 等 成 助 成 附 金 配 当 取 当	収 収 収 収 収 収	入 入 入 入 入 入	1,500,000 1,500,000 2,200,000 1,000,000 1,200,000 43,000,000 43,000,000 10,000,000 1,200,000 1,200,000 58,855,851 58,855,851 10,000,000 1,210,043 1,200,000 6,937
事 業 活 動 収 入 合 計 (A)				57,900,000	79,862,367
前 期 繰 越 収 支 差 額				8,513,634	15,536,738
收 入 合 計 (B)				66,413,634	95,399,105
2 事 業 活 動 支 出					
事 業				51,991,000	51,074,811
生 活 支 援 費				10,700,000	9,848,765
生 活 相 談 費				4,644,000	4,923,980
生 活 援 助 事 業 費				2,970,000	2,832,623
助 成 金 事 業 費				2,000,000	1,731,499
震 災 事 業 費				30,000,000	29,240,395
夏 期 研 修 費				10,000	851,901
福 利 交 通 費				230,000	473,147
旅 通 信 費				550,000	561,933
会 消 耗 品 費				10,000	29,045
印 刷 製 本 費				500,000	68,128
ソ フ ト ウ ェ ア 購 入 費				50,000	0
書 諸 保 会 支 払 手 数 費					26,157
管 理				4,569,111	5,133,901
給 料 手 当 費				2,120,000	1,885,581
法 定 福 利 費				500,000	749,434
通 信 費				300,000	490,894
旅 费				3,000	3,100
消 耗 品 費				300,000	328,517
事 務 所 貸 借 費				600,000	600,000
外 部 監 調 費				105,000	210,000
諸 福 利 費				111,111	111,111
会 利 厚 生 費				10,000	29,425
印 刷 機 費				30,000	45,040
租 税 公 費				400,000	432,168
支 払 手 数 費				80,000	89,500
雜 費				10,000	84,415
予 備 費				0	74,716
事 業 活 動 支 出 合 計 (C)				56,560,111	56,208,712
固 定 資 產 取 得 支 出				0	
什 器 備 品 購 入					
当 期 支 出 合 計 (D)				56,560,111	56,208,712
当 期 収 支 差 額 (B - D)				9,853,523	23,653,655
次 期 繰 越 収 支 差 額 (B - C)				9,853,523	39,190,393

◆財産目録

◆平成24年(2012年)3月31日 現在

科 目		金 額
【資産の部】	流 動 資 産	
現 金	預 金	
現 金	手 許 有 高	78,683
普 通 預 金		
三井住友銀行目黒支店(3口座)	25,534,727	
三菱東京UFJ銀行目黒支店	6,111,657	
みずほ銀行目黒支店	152,216	
普通預金合計	31,798,600	
郵 便 振 替 口 座	7,430,079	
現金預金計	39,307,362	
前 払 金		
職 員 謝 金	58,500	
立 替 金		
職 員 使 用 分	6,874	
流動資産合計	39,372,736	
固 定 資 産		
基 本 財 産		
その他の基本財産(国債)	100,000,000	
その他の固定資産		
長期保有目的有価証券(株券)	100,000,000	
ソフトウエア	56,700	
印刷機	189,000	
土地	17,600	
その他の固定資産合計	100,263,300	
固定資産合計	200,263,300	
資産合計	239,636,036	
【負債の部】	預 り 金	
源 泉 所 得 税	53,220	
未 払 金		
社 会 保 險 料	129,123	
流動負債合計	182,343	
負債合計	182,343	
【正味財産の部】	正 味 財 産	
(うち基本金)	100,000,000	
(うち当期正味財産増加額)	23,469,380	
負債及び正味財産合計	239,636,036	

◆貸借対照表

◆平成24年(2012年)3月31日 現在

科 目		金 額 (単位:円)
【資産の部】	流 動 資 産	
現 金	預 金	39,307,362
前 払 金		58,500
立 替 金		6,874
流動資産合計		39,372,736
固 定 資 産		
基 本 財 産		
その他の基本財産	100,000,000	
基本財産合計	100,000,000	
そ の 他 の 固 定 資 産		
ソフトウエア	56,700	
什器備品	189,000	
土地	17,600	
長 期 保 有 目 的 有 価 証 券	100,000,000	
その他の固定資産合計	100,263,300	
固定資産合計	200,263,300	
資産合計	239,636,036	
【負債の部】	未 払 金	
預 り 金	53,220	
流動負債合計	182,343	
負債合計	182,343	
【正味財産の部】	正 味 財 産	
(うち基本金)	100,000,000	
(うち当期正味財産増加額)	23,469,380	
負債及び正味財産合計	239,636,036	

学習支援室だより

さぼうと21 学習支援室を離れて

この春、学習支援室受講生、ボランティアの何人かが、進学や異動で東京を離れていました。ボランティアの原さんもその一人。赴任先の大坂から、メッセージをいただきました。



「エンジニアって何？」
でファシリテーター
をつとめる原さん

「先日、仕事で訪れたお客様先で子供たちの習字の展示を見た。何十枚もの子どもたちの習字を見て、正直なところ「なんだこれは」と面食らった。その内容は、すべて「税金」。子どもの頃から税金の大切さを知るとか、何か目的があるのかもしれない。けれど、子どもたちが楽しそうに書いているとすれば意味が分かっていないだろうし、意味が分かって黙々と書いている子供たちというのもなんか楽しそうではない。

それに比べると、さぼうとでの書初め大会は、ただただ楽しかった。少し跳ねを追加してみたり、何度も書き直したり、うまく書けずにへこむ子もいるし、下手なりに一生懸命教えるボランティア講師もいる(私自身か)。

教えることと教わることにはほとんど違いがないということを知ることができたのは、さぼうと21のおかげだ。今でも活気のある土曜日の教室の様子を思い浮かべると、勇気とチャレンジ精神を手に入れられる。」

原さんが、数年前、東京勤務となつてすぐにさぼうと21を訪ねてくださった時のことを思い出します。原さんの東京勤務は、さぼうと21の活動と重なります。

家庭でもない、学校でもない、みんなが自由な意志で集う学び合いの場「学習支援室」は、新年度、また、新しい受講生、ボランティアが加わり、元気に日々の勉強に励んでいます。

♪ 今井 信子(ヴィオラ)

♪ 岩田 恵子(ロイヤルコンセルトヘボウ第一ヴァイオリン)と共に

モーツアルト・レクイエム などをお届けします。

難民を助ける会 チャリティコンサート

【日時】

2012年9月13日(木)

午後7時開演(午後6時15分開場)

【会場】

サントリーホール 大ホール
(東京都港区赤坂1-13-1)

【料金】

全席指定 5,530円

※P席(舞台後ろ)2,000円もございます。

忘れないで
3.11

【曲目】◆オール・モーツアルト・プログラム◆

・ヴァイオリンとヴィオラのための二重奏曲
ト長調 K.423

・ヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲
変ホ長調 K.364

・レクイエム 二短調 K.626

【出演】

・今井信子(ヴィオラ)・岩田恵子(ヴァイオリン)

・澤畠恵美(ソプラノ)・林美智子(メゾソプラノ)

・米澤傑(テナー)・河野克典(バリトン)

・「忘れないで3.11」合唱団

・辻秀幸(合唱指揮)

・「忘れないで3.11」シンフォニエッタ

・杉山洋一(指揮)

※収益はすべて難民を助ける会の

東日本大震災復興支援活動に充てさせていただきます。

お問合せ: 社会福祉法人 さぼうと21 ☎: 03-5449-1331



Newsletter

Support21 Social Welfare Foundation

Vol.48 2012.7

社会福祉法人 さぼうと21

理事長 吹浦 忠正

社会福祉法人さぼうと21は……

日本国内で生活するうえで困難をきたしている難民やその家族、在日外国人および元外国籍の人々の相談に乗り、また自立支援活動を行う社会福祉法人です。認定NPO法人難民を助ける会(AAR JAPAN)を母体に、その国内事業を受け継ぎ、厚生省(当時)認可の社会福祉法人として1992年に設立されました。

「困っている人がいたらお互いさま」をモットーに、日本国内で政治、宗教に中立な立場で活動しています。学業継続のための経済支援を中心に、生活困窮者に対する幅広い生活支援を実施しております。

私たちの活動を応援してくださる方を
求めています！

■会員: 法人会費 50,000円

: 個人会費 5,000円

■ご寄付: 随時受付中

会費・ご寄付とも税法上の優遇処置が受けられます

◆会費・寄付のご送金口座◆

ゆうちょ銀行

振替口座: 00180-7-25470

加入者名: 社会福祉法人 さぼうと21

※通信欄に会費または寄付をご明記ください

三井住友銀行

目黒支店(普)851872

名義: 社会福祉法人 さぼうとじゅういち

みずほ銀行

目黒支店(普)1180279

名義: 社会福祉法人 さぼうとじゅういち

※銀行振込み後は事務局までご一報ください

お問い合わせ

編集・発行

社会福祉法人 さぼうと21 TEL: 03-5449-1331

FAX: 03-5449-1332

住所

〒141-0021 東京都品川区上大崎
2-12-2 ミズホビル3階

URL

<http://www.support21.or.jp>

